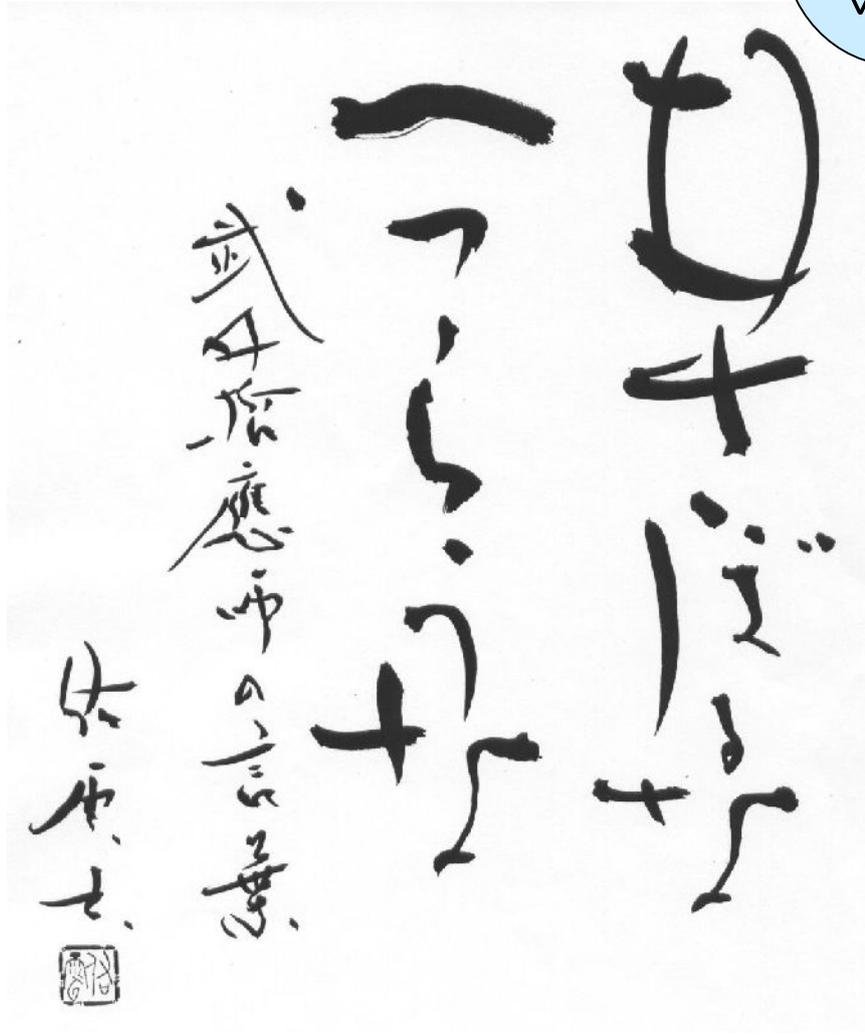


# 足利風 -ashikaga-fū

2009  
11月号  
Vol. 4



## 足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

## ☆ ご案内 ☆

- \*特集！
- \*TOPICS
- \*私のボランティアことはじめ
- \*サークル紹介
- \*インフォメーション
- \*センターからのご案内

## \* 「 協働って何? 」 \*

協働(Coproduction・Collaboration)とは、一般に、複数の主体が、共通の目標をめざして、ともに手をつなぎ活動すること。

協働の概念は、米国インディアナ大学・オストロム教授の1977年の著書の中から生まれた。日本語では「協働」と訳された。

協働とは、自立したNPOやボランティアが、行政や企業との間で、社会的な課題や目標を共有し、対等の関係のもと、相互理解の上で、ともに行動することです。

協働の形態としては、補助・契約関係(委託)・実行委員会形式・事業共催・・・などがあります。NPOやボランティアの活動は、運営方法や発想が、企業や行政とは大きく異なります。異質な存在どうしが協働を成功させるためには、協働の在り方(課題の共有・相互理解・対等の関係など)への配慮が必要となります。

協働という新しい経験を経ることにより、NPOやボランティアも、企業や行政も、自らの在り方を変えていくことが求められることとなります。試行錯誤を繰り返しながら、協働と自己変革のステップを、のぼって行くことが大切です。まずは、勇気をもって、始めの一步を踏み出すことです。

真の協働のためには、日常的な信頼関係の構築が必要であり、協働のための必須の条件をあえて言えば、それは「共感」である、と思います。足利のころの書家・相田みつをの言葉にもあるように、「人は理屈では動かない。感動や共感があってはじめて動く。」ということなのだろうと思うのです。

<M生>

## \* 女と男のフォーラム2009足利 講演会 内藤いづみさん \*

「在宅ホスピスは“ありがとう”と“さようなら”がひとつになるところ」

去る9月5日、足利市民プラザにて内藤いづみさんの講演会が開かれました。

内藤先生は今、日本中に在宅ホスピスを広めるために活動をしています。では在宅ホスピスとはいったいどういうことなのでしょう？

早く言えば、病院医療、他人任せの医療ではなく、自宅で家族に看取られながら安らかな死を迎えるための医療ということです。誰も自分が死ぬことを想像したいとは思いません。しかしながら、誰にでも必ず死は訪れるのです。内藤先生は問いかけます。「あなたは自分がどのようにして死ぬのか、その状況を想像できますか？」と。

この世に生を受けたからには、人は一生懸命に生き、そして苦しむことなく安寧に、命の終焉を迎えたいと考えます。しかしながら実際には、ガンの痛みや病気の苦しみにあえぎ、家を離れ、家族を遠く思いながら亡くなっていく方々が非常に多いのです。

生まれることも亡くなることも両方安心してできる社会の実現を目指して、内藤先生は在宅ホスピスの啓蒙活動にあたってくださいています。

よく生きることとよく死ぬこととはお互いに繋がっているということを真に実感できる講演会でした。

五行歌人 風祭智秋

## \* 「人は協力することができる」 \*

齋藤麻衣（両毛青少年国際交流クラブ）



私は中学3年生の時から国際交流やボランティア活動を行うクラブに入り、様々なことを経験してきました。今でもそうですが、活動をしていて最も嬉しくなるのは、活動を通して出会った人達と交流が持てたときです。活動をして感謝されることももちろん嬉しいですし、それが今までの私の励みになっています。しかし私には何より、新たな人との出会いが嬉しく感じられるのです。なぜなら、もし私がこのような活動をしていなかったら、出会うことのなかった人達がいるだろうし、またその人達と繋がることで知り得た多くの事実を今の私が知ることは、おそらくなかったからです。

例えば、世界には、真っ暗で汚いマンホールの中で過ごさなければならない子どもたちが大勢いること、フランスではほとんどの人がマニュアル車に乗っていることなど。いずれは知ることができたかもしれませんが、自ら知ろうとせずに普通に過ごしていたらなかなか入っては来なかった知識だと思います。行動し何かを知ることで、自分の世界が広がっていくということを日々実感しています。

「人は協力することができる」

ある映画を見た時にとっても印象に残ったセリフです。本当に当たり前のことだけれど、とても大事なことだと思います。人々が協力することで社会は成り立っているからです。身近な事から世界規模の事まで、協力することで様々な問題が解決されます。ですから、そうして少しでも誰かの役に立てたのなら、自分の成長に加え、周りの世界の成長につながっていることになります。このことがいかに素晴らしいかということに、今、改めて気付かされています。

## \* 特定非営利活動法人デザインファームとちぎ \*

理事長 吉田正之

社会や人々の価値観がますます多様になっている現在、地域は地域なりに固有の魅力を創り出していくことが何よりも大切です。それによって、その地域でなければならない存在理由、存在価値が明らかになるからです。地域住民自身や地場企業経営者が地域の魅力や個性が何であるかを考え、可能性を探りだし、新しいカタチにしていくことが地域づくり活動にとって重要になってきます。また、住民や企業、行政が一体となった地域づくりを進めていくことも、今後増々必要かつ重要になってきます。こうした中で、その地域にあるものを上手く利用して注目を集め、自立した地域としてのイメージを定着させなければならないと考えます。私たちの考えるまちづくりの理念は、その地域に住んでいなければわからない良さ、ローカルな視点を大切にしながら、同時にその地域に住んでいては見えない部分をグローバルな視点から考え、ひと・もの・自然など、地域のあらゆる可能性を探り、研究、提言、啓蒙、技術開発、そして表現していくことにあります。

私たちは「強い地域の創造」を目的として活動を展開して行きます。会員は専門家、企業関係者、などによる横断的な組織とし、しっかりとした理念に基づいたコミュニケーションデザイン（情報伝達）を通して、地域活性化に寄与する活動を展開し、広く公益の増進に貢献していきます。

## ① インフォメーション ①

### ☆ みんなのしゃべり場 開催します！

～ 足利市民活動センター利用者懇談会 ～

ふだん、活動センターについて感じていること、思っていること…  
などなど、みなさまのご意見を、お聞かせください。  
お友達をお誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。  
お待ちしております。

日 時：平成 21年 11月 19日(木) 午後7時 ～ 9時  
会 場：足利市民活動センター 3F フリースペース  
対 象：活動センターに登録している団体・個人または活動に興味・関心のある方  
参 加 費：無料（飲み物、お菓子付）  
締 切 日：平成 21年 11月 12日(木)  
申込方法：所属団体(所属している方のみ)・出席者を電話・FAX・メールにて  
お申込ください。

#### 【 問合せ・お申込は… 】

足利市民活動センター

電話 0284-44-7311 ・ FAX 0284-44-7312

メール [info@shimin-act.jp](mailto:info@shimin-act.jp)

## \* センターからのご案内 \*

### ☆ みんなの広場 ～ 11月・12月のご案内 ～

- \* 足利銘仙展(11月 2日～12日)                      \* イラスト展(11月16日～26日)
  - \* 正田淑子展(11月30日～12月10日)            \* 足利と田中正造展(12月14日～24日)
- 詳しくは、別紙参照

### ☆ 相談室 & 講座のご案内

- \* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時  
詳しくは、別紙参照
- \* 講 座 = 毎月1回 午後7時～9時  
詳しくは、別紙参照

## 【 編集後記 】

クリスマスのバルーンフェスティバルが今から楽しみです(^\_^)v (ゴンタ)  
本格的なインフルエンザの季節になりますので、ご注意ください。(コッペ)  
国際交流協会のクリスマスパーティーに皆さん参加してね\(^o^)/ (アイリ)